

ハート基金&いちサポ補助金
いちかわ市民活動サポート制度



いつも新しい流れがある 市川

2025/1月
No.012



市民活動に活用
「いちサポ補助金」

いちかわみんなのほけんしつ 実行委員会

～誰もが安心できる場所を目指して～

いちかわ
みんなの
ほけんしつ

どんな気持ちがあってもいい
ひとりひとりの気持ちを大切に

市民活動全体に対する総合的な支援に向けて

市は、市民活動団体が行う事業のサポートを行うとともに「①活動する市民を増やす」「②市民活動のファンを増やす」といった市民活動全体に対し、総合的なサポートを行うため「いちかわ市民活動サポート制度（通称：いちサポ）」を平成28年度に立ち上げました。

— 掲載項目 —

いちサポ補助金交付団体 活動紹介 / いちかわ市民活動サポート制度について

【特集】いちサポ補助金交付団体 活動紹介



いちサポ補助金 × いちかわみんなのほけんしつ 実行委員会

誰にも言えず、つらかったり、不安だったりすることをなんでも話せる場所です。

- ・毎週木曜日 11:00~13:00
- ・月1回土曜日 14:00~16:00 に開催
- ・予約不要・相談無料
- ・開催日時・場所は公式LINEでお知らせします。



QRコードでLINEの友だちを追加

活動のアレコレ！
お聞きしました！

代表 藤井 和世氏(右)

「ほけんしつ」は安心して、人が人としてお互いを認め合う場でありたい。そのためにボランティアの方が自分自身を大切にしながら活動する術を学ぶ場も提供しています。

インタビュー

— 会を設立しようと思ったきっかけは？

医師としての診断が患者さんを傷つけることになっていたのではないかと、選択した治療法が「今ここにいる私とあなた」として正しかったのかと考えることがあり、コロナ禍では人々の心身が疲弊するのを目の当たりにし、安心安全な場所として「ほけんしつ」を作りたいと考えるようになりました。

様々な背景をもつ方の気持ちを受け止める「ほけんしつ」には、医療以外の知見をもつ人が必要だと感じていたので、周囲の人たちに声をかけ同じ思いを持つ方々に実行委員のメンバーになってもらいました。情報発信を担当してくれる金岡さんは建築士であり、実はママ友です。異なる視点をもつ人との交流で「ほけんしつ」がより豊かな場となり、想像以上の効果を生み出していると感じています。

— 現在感じていることは？

人のつながりで、「ほけんしつ」に来てくださる方が増え、ボランティアをしてみたい、という方も増えています。少しずつですが「地域のハブ(中心・中核)」になり、来てくださる方にとっての「身近なリトリート(※)」になれているかなと感じています。

複雑な世情が続く、世の中が怖い、怖い人が多い、という雰囲気がとても気になっているので、安心を求める方に認知いただけるよう、地道に活動を続けていきたいと思っています。

※リトリート: 疲れた心身を癒すために仕事や日常から離れて過ごす方法・場所

幼少期に約半数の人が心の傷つきを家庭で経験し、5人に1人が生涯で何らかの精神疾患に罹患すると言われながら、その予防や早期相談が充分に行われていない。また、精神疾患のある方への関わり方や病気との付き合い方が分からないため、その方が周囲から孤立してしまう、という社会課題を少しでも解決することが大きな目標です。

— 補助金をどのように活かしていこうと思いますか？

お互いを認め合い、助け合う共助である市民活動を補助金という形で応援してもらえることは、とても有難く、補助金があるお蔭で、私たちは「宿泊型のほけんしつ」という新しいアイデアを形にすることができました。安心して「食べる」「寝る」という要素を取り入れた「暮らしのほけんしつ」の第一歩をさらにつなげていきたいと思っています。

また、行政とのつながりで公民館等にチラシを置いていただくなど、事業の認知度をアップできることにもメリットを感じています。

補助金の流れ

対象:NPO法人や任意団体

<活動の計画>

年間の活動を会員みんなで検討し、計画を立てます。
また、補助金の活用についても検討します。

<補助金の申請>

補助金を受ける目的、活動することで地域にどれだけの利益をもたらすことができるかを申請書でPRします。

<補助金の活用>

実際の事業・活動に必要な経費に対し、補助金を充当することや、これまでから拡充した経費に充当することで、充実や発展を目指します。

団体での活用例

消耗品	衛生用品他
印刷製本	チラシ、アンケート印刷
使用料及び賃借料	会場使用料

<実際の活動>

活動計画や補助金申請の際に記載した事項に則り、実際の活動を行います。



<活動実績の報告>

活動の報告、補助金を活用した費目に係る収支決算書を作成し、実績の報告を行います。



<補助金の受取>

実績報告後、確定した補助金額を市から受け取ります。
※概算払で事前に受け取っていた場合、差額の返金が必要となることもあります。

■ 詳しい内容については「補助金ガイドブック」をご覧ください
NPO・市民活動支援課の窓口でお渡し、または市公式Webサイトからもご覧いただけます。

いちかわ市民活動サポート制度とは？

NPO法人はもちろん、
任意団体まで幅広く応援します

【市民活動を支える2本柱】

1. 市川市市民活動総合支援基金（愛称：市川ハート基金）
→ 市民からの寄附で市民活動団体を支えるしくみ
2. 市川市市民活動団体事業補助金（通称：いちサポ補助金）
→ 社会貢献に係る事業費への補助をするしくみ

1. いちかわハート基金 の流れ

市民等から
の
ふるさと納税

企業等から
の
指定寄附

いちかわハート基金

使い道の一例

①団体への備品貸出

市民活動団体がイベントで使用する備品を市が購入し、貸出ます。

簡易テント、スピーカー、マイク、
プロジェクター、PC など

②活動センターの充実化

作業スペースの充実化として、PCの設置や裁断機、紙折り機等の設置しています。
印刷機も設置し、費用を抑えて印刷することができます。

③活動支援講座の開催

財政面、チラシの作成など、講師を招き、団体向けに講座を開催しています。

2. いちサポ補助金 の流れ

市民活動団体からの申請

審査会等での審査

市民活動団体が実施する
社会貢献活動の事業費用
の一部を補助します

事業の考え方

- ・自主的自発的に行われるもの
- ・市内において実施するもの
- ・営利を目的としないもの
- ・市民を主たる対象とするもの
- ・地域の課題、問題が解決されるもの

＊対象経費の1/2

＊上限30万（3回まで）

＊4回目以降は別途審査

